



グループ	テーマ	グループからの主な意見内容	今後の対応
①	地域コミュニティ活動への参加促進	<p>●現状や問題点など 自治会について・・・ 自治会加入世帯(加入率)の減少 (若い世代・マンション・アパート) 住民同士のつながりが少ない 自治会に入らないことにデメリットがない 役員のなり手不足 活動しているのはいつも決まった人</p> <p>●理想像・あるべき姿 楽しい自治会 全世帯が自治会に加入 多世代交流が盛ん 一人一役(役員のサポート体制がある) 出来る人が、出来る時に、出来ることをする</p>	<p>～実現に向けた取り組み(案)～</p> <p>【地域での取り組み】 自治会加入のメリットを作る みんなが楽しめるイベントの開催 日頃からの声かけ 多世代交流の場を作る</p> <p>【行政での取り組み】 自治会活動について広く広報 公園の利活用における柔軟な対応 補助金アップ</p> <p>【市民協働での取り組み】 自治会(役員)の負担軽減</p> <p>地域活動を紹介した自治会加入促進リーフレットの配布や、SNS、まちづくりセンターだより等を活用した地域情報の発信を継続して行うとともに、就学前の親子を対象に地域活動を知ってもらい取り組みを新たに行い、地域活動への理解や地域コミュニティへの参加促進につなげていく。</p> <p>地域コミュニティづくり支援補助金の活用を今後も促進するとともに、他の補助制度等の情報収集・発信を合わせて行い、地域主体のまちづくりが活性化するように継続して支援していく。</p> <p>公園の利活用における柔軟な対応については、本庁担当課と協議を行っているところであり、地域ニーズが反映されるよう継続して取り組む。</p> <p>○令和2年度(2020年度)東区まちづくり推進事業(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)同世代交流事業</li> <li>・東区地域コミュニティづくり支援補助金</li> <li>・東区民文化スポーツ交流事業</li> <li>・(仮称)東区民まつり開催経費</li> </ul>
②	子どもから高齢者まで、地域住民が集える場づくり	<p>●現状や問題点など 隣近所とのつながりが浅い 地域によってつながりに格差がある 地域内の縦の関係が薄い ご近所さんについて知らない 近所の方と顔見知りになる機会が少ない 地域とつながる方法が分からない 昔のような受け入れ場所がない 高齢男性の孤独 若い親が子育てに悩んでいる 一人でご飯を食べる子ども(孤食)</p> <p>●理想像・あるべき姿 集まって話せる場・相談し合う場 「ここに行けば誰かがいる」→安心感 老若男女、世代間交流が盛ん 地域の子どもを地域で育てる 隣近所との密接なつながり 情報がスムーズに共有できる地域</p>	<p>～実現に向けた取り組み(案)～</p> <p>◆地域主導の集える場づくり◆ 常設の憩いの場、交流する場 みんなの家 空き家の利活用 空き教室でカフェ</p> <p>地域で子育てができる環境づくり 若者主導のまちづくり (SNSを活用した情報共有等)</p> <p>地域で自分の特技などを発表できる場 (人材発掘) 人材バンクの活用</p> <p>地域の中での集いの場づくりには、自治会等の地域団体やボランティアの協力が不可欠であることから、地域と関係団体・ボランティア等とのつながりづくりを支援するとともに、支援者同士の交流やネットワークの活性化を図る。</p> <p>地域で開催されているサロン活動の活性化支援やあさひリビング(地域交流スペース)の活用支援など、地域の中にある資源を生かしながら住民同士が集える場づくりの支援を強化していく。</p> <p>○令和2年度(2020年度)東区まちづくり推進事業(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あさひリビング(地域交流スペース)活用支援事業</li> <li>・サロン活動支援事業</li> </ul>



グループ	テーマ	グループからの主な意見内容	今後の対応
③	災害に強いまちづくり	<p>●現状や問題点など 熊本地震の経験から・・・ 障がい者の中には、避難所に行けない、支援物資をもらいに行けない、並べない、助けを言い出せない方がいた 専門職だけでは限界があった 体が不自由な方、体育館ではなく車中泊を希望する方、ペットを嫌う方、ペット同伴を希望する方など様々な対応を求められた マニュアルはあったが、実際には動けなかった</p> <p>健軍商店街（アーケード）も大きな被害を受けたが、個人経営集団のため、いち早く営業を再開した 商品・食材等を地方から集め、炊き出し等も行った</p> <p>●理想像・あるべき姿 自助（まずは自分の命） その次に共助・近所（まわりを呼び込む・助け合う） 平常時からのコミュニケーション・助け合い 日頃からの気付きと気遣い・お互いを知る 高齢者・障がい者・外国人等にも配慮した避難所運営 商店街等の地域資源の活用 （商店街の社会的役割・活性化）</p>	<p>～実現に向けた取り組み(案)～</p> <p>【自分で出来る備え】 災害時の備えについて事前に学ぶ 避難所・井戸・活用できる物など知っておく 地域や隣近所とのコミュニケーション 体の不自由な方への配慮</p> <p>【地域での備え】 事前の知識が大事！ 楽しくゲームで学ぶ 避難所運営ゲーム(HUG)</p> <p>【商店街との連携協定】 店舗の強みを生かした物資供給・炊き出し等</p> <p>災害に強いまちづくりには、日頃からの自助・共助による備えが重要であることから、各校区の防災連絡会での研修会や地域での防災訓練、区が実施する出前講座などを活用し、災害時の備え・知識を事前に楽しみながら学ぶ場づくりを今後も継続して行う。</p> <p>各校区の防災連絡会・避難所運営委員会において、要配慮者（高齢者・障がい者、外国人等）にも優しい避難所づくりや、商店街・企業等を巻き込んだ防災の取り組みを支援する。</p> <p>地域の防災リーダーである防災士のスキルアップやネットワークづくりを支援し、地域防災活動への参加意欲や地域防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりへつなげていく。</p> <p>○令和2年度(2020年度)東区まちづくり推進事業(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士スキルアップ事業</li> <li>・ちょこっとパトロール</li> <li>・安全安心のまちづくり事業</li> <li>・地域防災合同訓練事業</li> <li>・あさひばみんなの防災フェスタ開催経費</li> </ul>
④	みんなで助け合う、福祉のまちづくり	<p>●現状や問題点など 東区における高齢化について・・・ 高齢化率は低い、人口→多い＝高齢者数→多い 疾病が増えると、認知症も増える</p> <p>高齢化が進むと、福祉サービスが追い付かなくなる</p> <p>●理想像・あるべき姿 みんなが自分の持つ個性を大事にできる 自分をわかってくれる 自分に理解を示してくれる のびのびと生きていくことができる 自立した生活を送れる 子どもから大人まで相談できる</p> <p>住民同士のちょっとしたお手伝い(無料orちょっと有料) 生活の手助けをする→まちづくりにつながる</p>	<p>～実現に向けた取り組み(案)～</p> <p>◆集いの場所・居場所づくり◆</p> <p>地域のつながり・交流 ふれあい・助け合い 安心できる環境 同じ境遇の人々が集まれる 悩みを共有できる 認知症カフェ(当事者・家族・関係者) 全ての世代・多様な人々が利用できる 住民同士の中での居場所づくり 歩いていける場所</p> <p>○自分たち(学生)に出来ること・・・ 日頃の挨拶 行事への参加 話を聞く ボランティア(傾聴・料理・遊びなど) 世代間交流 公共スペースでの簡易的な交流会 スポーツや勉強を教える スマホや機械の使い方を教えるなど・・・</p> <p>地域の中での支え合い・助け合いが今後さらに深まるよう、認知症サポートリーダー等の養成を継続して行うとともに、地域で活躍するボランティア同士の交流や、活躍の場を広げるための支援を行うなど、ボランティア活動の体制づくりを強化していく。</p> <p>サロン等(集いの場)の運営者の負担軽減や内容の充実について支援を行い、地域におけるサロン活動等の活性化を図る。</p> <p>○令和2年度(2020年度)東区まちづくり推進事業(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食でつながる地域の環事業</li> <li>・地域ささえあい推進事業</li> <li>・子育て支援ネットワーク活性化事業</li> <li>・東区健康まちづくり推進員支援事業</li> </ul>



グループ	テーマ	グループからの主な意見内容	今後の対応
⑤	恵まれた自然環境の保全と、地域資源をいかしたまちづくり	<p>●現状や問題点など</p> <p>[託麻三山] 展望所の整備ができていない 手入れがされておらず、荒れている山もある</p> <p>[江津湖] 昔はきれいな江津湖だった 水害などにより浅くなった</p> <p>若い人が知らない(名前は聞いたことがある) 親近感がわからない</p> <p>●理想像・あるべき姿</p> <p>あるべき姿・資源環境を活かす 継続的な維持管理(支援)・整備 身近な場所 アピールできる場所 区の観光資源 (江津湖・動植物園・託麻三山を回遊)</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>～実現に向けた取り組み(案)～</p> <p>【地域での取り組み】 地元住民が喜ぶことが大事 住みよい「まち」→観光資源になる 地域活動での竹の活用 (どんどや・七夕) 歴史を知る</p> <p>【行政での取り組み】 駐車場・案内表示・看板の整備 10～20年先を考えた計画・整備</p> <p>【市民協働での取り組み】 豊かな自然を残す 遊歩道の整備 SNSなどを活用したアピール 住民が参加・楽しめるイベント (たけのご掘り・流しそうめん・ウォーキング等) カフェ(移動販売)</p> </div>	<p>江津湖や託麻三山など区の恵まれた自然環境が、地域の宝として愛され、住民同士の憩いの場やまちづくりの拠点、そして観光資源としても活用されるよう、地域での環境活動・イベント等の支援を行うなど、環境美化の推進と利活用促進に取り組む。</p> <p>託麻三山については、令和3年春に開催される「全国都市緑化フェア」のパートナー会場候補となっていることから、これを契機として、観光資源としての知名度向上を図り、地域交流の拠点にふさわしい環境整備を行うため、本庁担当課と連携しながら案内看板の設置やマップ作成に取り組む。</p> <p>○令和2年度(2020年度)東区まちづくり推進事業(案)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・自然環境魅力向上事業</p> </div>